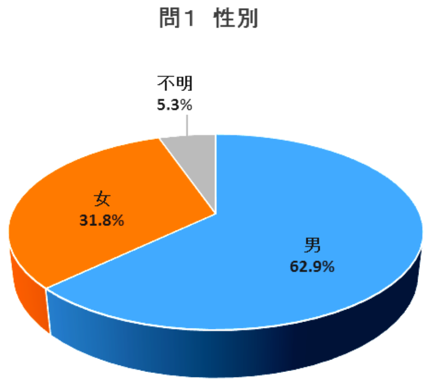
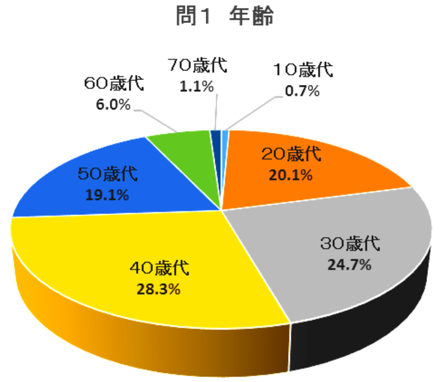
平成２８年度市民ノーマイカーデーに関するアンケート調査結果

平成２８年度市民ノーマイカーデーの実績報告者は３２６人，アンケート提出が２８３件であった。（アンケート回収率８６．８％）

問１　あなたの性別・年齢について

参加者の男女比は男６２．９％，女３１．８％，不明が５．３％であった。
年齢構成は，４０歳代が２８．３％と最も多く，次いで３０歳代，２０歳代，５０歳代の順となり，１０歳代の参加もあった。

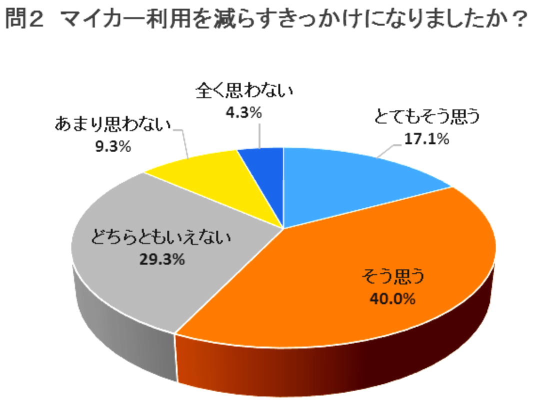




問２　「ノーマイカーデー」に参加してどのように感じたかお聞かせください

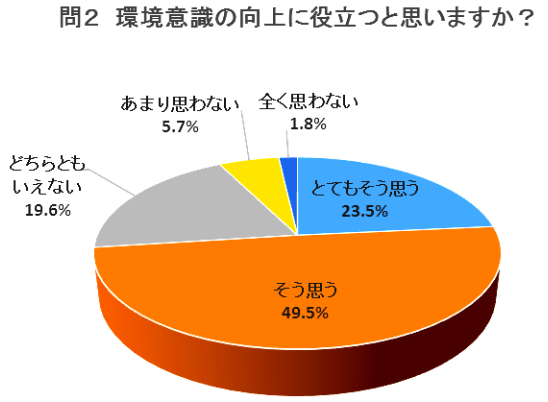
（１）今後，マイカーの利用を減らそうと考えるきっかけになりましたか？

「とてもそう思う」，「そう思う」を合わせると半数以上であるが，「どちらともいえない」も２９．３％と一定数を占め，前回よりも微増となった。
また，「あまり思わない」，「全く思わない」を合わせた比率は前回よりも，２．１ポイント減少する結果となった。



（２）ノーマイカーデーの取り組みは，環境意識の向上に役立つと思いますか？

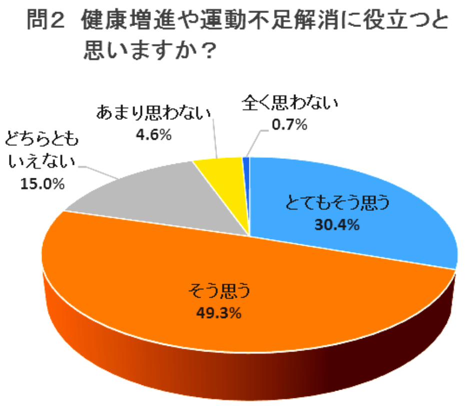
「とてもそう思う」，「そう思う」を合わせると７３％で，前回より３ポイント減少し，「どちらともいえない」が１９．６％と前回より３．６ポイント増加しているものの，環境意識の向上に一定の効果があるとの認識に大きな変化がないと考える。
今後も，環境面での効果について，情報発信を強化・継続することが必要である。



（３）ノーマイカーデーの取り組みは，健康増進や運動不足解消に役立つと思いますか？

ノーマイカーデーの副次的な効果についての質問であるが，「とてもそう思う」，「そう思う」を合わせると７９．７％で，前々回から微増傾向が継続している。

このことから，環境意識の向上よりも，健康増進や運動不足解消に役立つことを積極的にＰＲすることが，今後のノーマイカーデーの取り組み拡大に向け，重要であると考える。

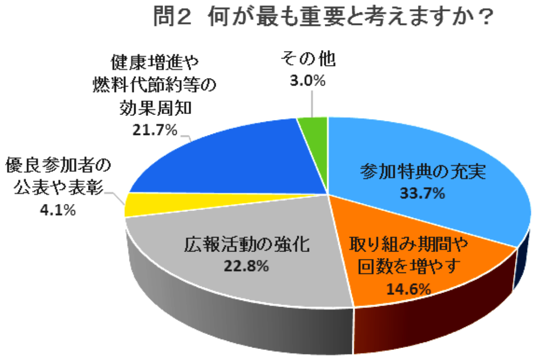


（４）公共交通の利便性向上以外で，ノーマイカーデーの取り組みを拡大・継続するためには何が最も重要と考えますか？

「参加特典の充実」が３３．７％で最も多く，次いで「広報活動の強化」が２２．８％，「健康増進や燃料代節約等の効果周知」が２１．７％であった。

「参加特典の充実は」前回から６．９ポイント増加しており，今後の参考としたい。

また，「取り組み期間や回数を増やす」は１４．６％で前回から微減となった。

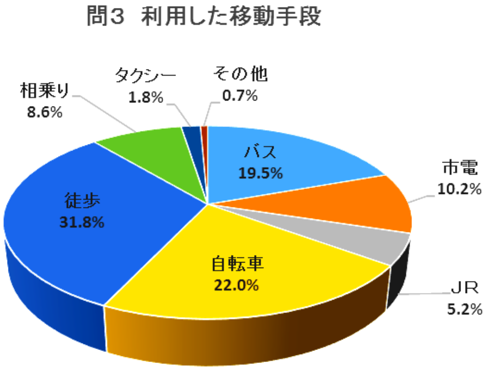


問３　移動手段とその利便性についてお聞きします

（１）利用した移動手段についてお答えください。（複数回答）

「徒歩」が３１．８％と最も多く，次いで「自転車」が２２．０％，「バス」１９．５％，「市電」１０．２％，「相乗り」８．６％となり，前回と比較して徒歩での移動が増加し，相乗りが減少する結果となった。

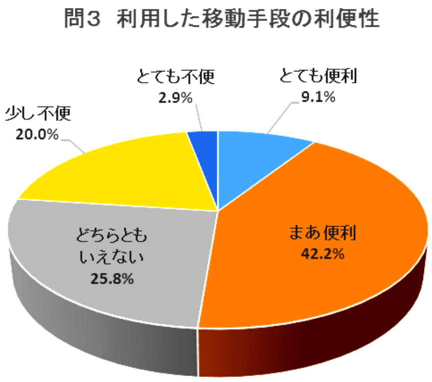
なお，移動目的は約７割が通勤であり，参加者の平均移動距離は，９．８kmであった。



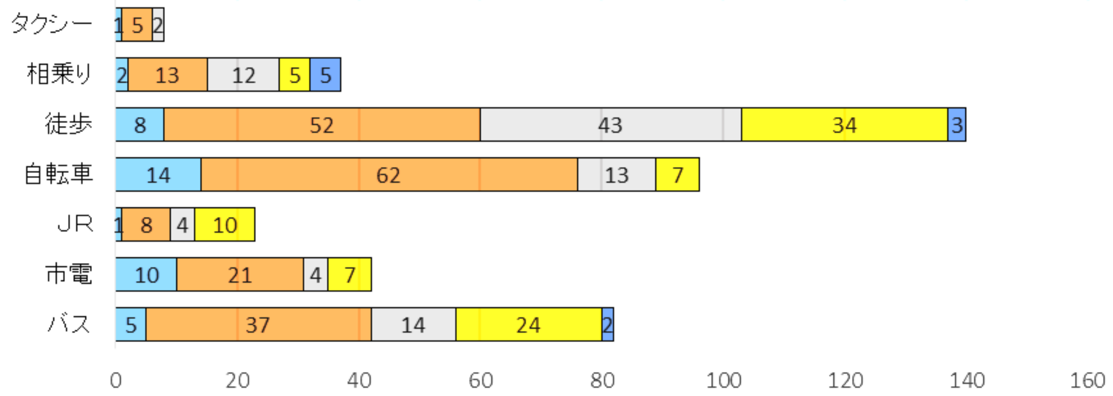
（２）利用した移動手段の利便性はいかがでしたか？

「とても便利」，「まあ便利」を合わせると５１．３％となり，参加者の半数程度は比較的快適に移動している。

移動手段別で「とても便利」，「まあ便利」を合わせた回答が多いのは，自転車，徒歩，バスの順となり，今回は，バスの利便性について比較的高く評価された。徒歩については，「少し不便」，「とても不便」を合わせた回答も多く，前回と同様の結果となった。



利用した移動手段の利便性



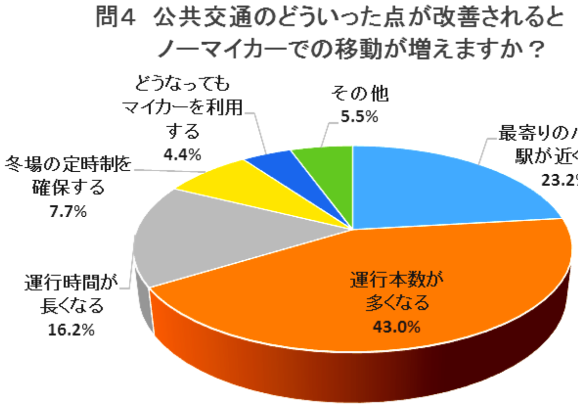
	バス	市電	JR	自転車	徒歩	相乗り	タクシー
□とても便利	5	10	1	14	8	2	1
□まあ便利	37	21	8	62	52	13	5
□どちらともいえない	14	4	4	13	43	12	2
□少し不便	24	7	10	7	34	5	0
□とても不便	2	0	0	0	3	5	0

□とても便利　□まあ便利　□どちらともいえない　□少し不便　□とても不便

問４　公共交通サービスのどういった点が改善されれば，ノーマイカーでの移動が増えると思いますか？

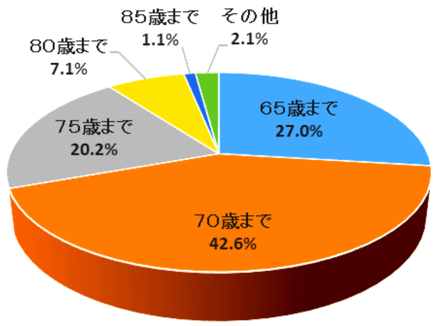
「運行本数が多くなる」が昨年より７．２ポイント減少したものの，４３．０％で最も多く，次いで「最寄りのバス停・駅が近くなる」が２３．２％，「運行時間が長くなる」は１６．２％で，これまで同様の結果となった。

その他として「バス路線がわかりやすくなる」，「運賃引き下げ」，「市電路線の増設，拡大」，「乗り換えの利便性」など，これまで同様の意見があげられた。



問５　あなたは何歳まで安全にマイカーの運転を続けられると考えていますか？

「７０歳まで」が４２．６％で最も多く，次いで「６５歳まで」が２７．０％，「７５歳まで」が２０．２％となり，これら上位３つの選択肢合計で８９．８％となった。
前回同様，多くの方が７０歳前後まで安全にマイカーの運転を続けられると考えている結果となった。



問６　今回のノーマイカーデーへ参加されて，ご意見，ご感想などあればお聞かせください。

全体で８６件の意見，感想があり，主な内容は以下のとおり。
（内容は原文のまま）

【主な意見，感想】
・エコと健康のためなるべく続けたい。
・台風の接近のため強風だったり，私の体調不良も重なりやはり車を使わない生活は困難でした。しかし，かねてからなるべく車を使わないで徒歩や自転車で移動したいという気持ちはあったので，今回参加できて良かったと思います。
・特典の充実も必要だが，何よりも公共交通機関の利便性をよくすることを考えてほしい。札幌市を見習ってほしい。車が無くても不便と感じない社会づくりをしてほしい。
・この期間，雨の日が多く，歩くのを迷いましたが，頑張ってマイカーを使いませんでした。ただ，４人家族なので，休日はマイカーがないと厳しいです。
・イベントの目的と成果が判然としない。少数の参加者が自己満足にひたっているだけの，何かやってますよという実績作りなら，もうやめてもよいのではないか？あまり派手にやると自動車販売店から営業妨害と訴えられるのか？
・車を乗らない日をつくるという，良いきっかけになりました。
・なかなかきっかけがないとマイカーに頼ってしまうので，よい取り組みだと思います。今後も続けてほしいです。
・このような取り組みを初めて知りました。もっと告知してほしい。
・会社の送迎バスも，マイカーを減らす運動にもつながります。
・この取り組みの為に，普段車を使う所，歩くきっかけとなった。
・市電は電停近くに住んでいる事や自由に使用できる車がない時などの理由から，通院やレジャーで不定期で乗らせて頂いていますが，どうしても幼児 2 人を連れてとなるとバスへの乗り換えが不便であるとかがネックとなります。またベビーカーが必須となる為，低床車を待たなければ乗り降りが大変な部分や混雑時が困難であると考えると，環境問題は取り組まなければいけない事項だとは思いますが，どうしても車の方が便利だと考えてしまいます。
・乗った市電が，観光客がたくさん乗っているタイミングだったため大変混雑していた。観光のオフシーズンに実施した方が良いのではないか。

・車を所有し続けることによって年間の維持費がどれだけかかるのか，それに対し，車を所有せず公共交通で過ごした際の年間の交通費を比べて示す。また，１日に何分歩くことで，健康寿命が延びるのか，などを示すことによって，ノーマイカーに対する関心が高まるのではないかと思います。居住地・勤務先で当然金額が異なり，一律の金額を示すのは難しいと思いますが，路面電車沿線や中央部・西部地区に居住地を積極的に誘導したいという，市の施策もあります。まちなか居住の促進と公共交通の利用促進，低炭素社会への取組などは，連動して実施するべきだと思います。
・期間中に１日以上，マイカーでの移動を控えるという，比較的参加しやすい取組であり，イベントとしては十分かと思う。しかし，肝心の環境対策としては，アリバイ作り程度にとどまっているように感じられる。
・任意参加の市職員のノーマイカー通勤日を設定する（ノーマイカーデーとは別に）
・できるだけ公共交通機関を利用したいとは考えておりますが，利便性と費用面を考えるとどうしてもマイカーを使ってしまいがちです。特にバスは，今回も利用を考えたものの，運行本数や時間帯が少ない上に運賃も高く，結局利用しませんでした。もう少し使いやすくなると良いのですが・・・。バス会社の経営上の問題もあるのでしょうが，このままでは，足が遠のく一方です。
・石川町に住居があり，公共交通機関が充実していないので大変困難です。市電の美原地区延伸希望！
・参加特典は，皆同じ物が良いと思われます。
・良い取組なので，月１回位実施してはどうか？
・バス定期があると，土日の運賃がかからないのは，バス通勤を検討するいいきっかけになると思った。バスの利便性を高めてほしい。
・かならず参加より，いつでも参加のスタンスで進めたい。
・自転車の利用に向けて，規制が多く利用しづらい。公共交通には問題が多くて，お話にならない。
・続けることが大事だと思います。参加特典も工夫されて良いなと思います。今，函バスで暦日定期券を持っていると土日祝日がバスに乗り放題（同伴者も半額）というのをやっていてとても便利です。これをノーマイカーデー期間限定で，割安の定期として売り出してみるというのも面白いのではないかと思います。バスも意外と便利だと思ってもらえるかもしれません。
・公共交通が利用しづらい勤務場所だったので，天気を見ながら実施した。悪天候時には自家用車が快適・便利であるが，天気良い日は渋滞回避，運動不足解消のため自転車通勤を継続したい。
・環境を個々が意識する良いきっかけになるので，ノーマイカーデーがもっと，市民に浸透することを望みます。ノーマイカーデー自体を知らない市民が大半だと思うので，周知が必要と感じました。もっと，参加者が増えればたくさんの市民の意見を聞くことができ，公共交通機関の見直しにも繋げられるのではと感じます。
・市の広報を活用し，当日の周知を行う必要性を感じました。当日に広くアナウンスされることで，社会全体での取り組みが意識されますし，「やろう」という気持ちになります。また，当日限定で公共交通機関の優待券（札幌のドニチカきっぷのようなもの）を販売するなど，前向きなインセンティブ（クチコミ効果もある）を活用すべきと考えます。

・バスの中にはどこの停留所に止まるのか図などで示してほしいです。
・最寄りのバス停があまり活用できないので，積極的にとりくめません。
・近くにバス停がないのでとても利用しずらいです。相乗りでも，行きは良いが，帰りが時間も合わないので少し不便さを感じる。
・もっと環境について考えていこうと思います。
・自転車や徒歩をすることにより，普段とは違った景色が見られて，朝，気持ちが良かったです！
・運動不足の解消や普段見れてなかった建物などを見る良い機会になりました。
・改めて考えるきっかけになりました。天気の良い日には，歩くよう心がけます。
・車を乗ることによる環境への悪影響は，昔に比べて格段に減ったと思う。地球温暖化対策の為には，もっと別な事象に対して活動した方が良いと思う。「ノーマイカーデー」の在り方を再検討した方が良いと思います。
・通勤時間に間に合うバスが７時４分しかなく苦労した。一度，亀田本町近辺でバスを降りて美原５丁目まで歩いて帰宅した。大変いい運動になった。
・気象等の影響もあるが，なるべくマイカー以外での移動を心掛けたい。
・周知が足りないと感じました。ポスター，リーフレットまで必要ないのかもしれませんが，誰にもきづく，目につく，広く知れわたらせる方法を探す必要があるのかもしれません。
・ノーマイカーの効果を具体的に示すことができれば，ノーマイカーへの意識の啓発につながると考えます。
・実際にノーマイカーを体験したことで，普段は考えていなかった環境について思いを馳せたり，推進者の目線で考えたり，エコを実現することができた。これから自分でできることについて考えるきっかけになったし，できることを増やして行こうと思う。
・市電はとてもわかりやすくて乗れましたが，バス運行がよくわからず，徒歩で移動する部分がありました。
・バスからバス，又はバスから電車等乗り換えが発生すると利用がしずらい。
・バスを利用した事で計画的な時間の使い方をすることができた。
・マイカーに慣れているためバス停まで歩いたり，時間を待ったりというのが大変でした。ただ，普段近くても車を使用してしまいますが，歩いていってみようという意識になり健康のためにも良いと感じました。
・今回は仕事の関係で，１日しか参加できませんでしたが，この機会に期間以外でも積極的にノーマイカーデーを推進していきたいと思います。
・今後も継続的に参加したいと思います。
・いつも当たり前のように買い物に利用していましたが，自転車や徒歩にかえることにより，環境にやさしいだけではなく，健康のためにとてもいいことをあらためて実感しました。天気のいい日は，今後もやってみたいと思います。
・次回も参加したいです。市電ルート以外の場所で，自転車道路の整備をしてほしい。
・官庁関係者が率先して（通勤・出張・外勤など）公共交通機関を利用しアピールする。